



顧客成功事例

# stc pay

1年で1200万ユーザー増を達成  
EDB 製品群が支えた止まらない  
デジタルウォレット





## 顧客：STC PAY

EDB 利用開始：2020 年

**Ibrahim Kawash**  
Database Team Lead

課題：複雑なデジタル決済処理アプリケーションを Postgres へ移行し、スケーラビリティの向上、イノベーションの推進、決済データの安全確保を実現

EDBソリューション：EDB Failover Manager (EFM)、EDB Postgres Enterprise Manager (PEM)、EDB Backup and Recovery Manager (Barman)、EDBサポート

成果：EDB のバックアップとリカバリーソリューション、サポートによって、貴重なデータの完全性が保たれ、stc pay の革新的なデジタルウォレットソリューションの性能と安定性が向上



## 概要

### stc pay が Postgres を選択し、モバイルイノベーションを推進

デジタルウォレットは、支払いの仕組みだけでなく金融サービス全体を革新しています。ユーザーは送金や受取だけでなく、より賢くお金を管理できるようになり、身分証や会員証、ポイントカード、イベントチケットなども現金やカードを持ち歩くことなく安全に保存できます。

非接触の特性により、パンデミック中にウォレットの使用が急増し、現在ではデジタルウォレットが世界で最も急速に成長している決済手段として広く認識されています。調査によると、2026 年には世界の人口の半数以上、つまり 52 億人が電子ウォレットを使用すると予測され、2024 年の 34 億人から大幅に増加する見込みです。



取引や支払いの詳細に確実にアクセスでき、使いやすい機能がなければ、デジタルウォレットの成長は継続できません。そのため、スケーラブルなデータベースが成功するデジタルウォレットの基盤を形成しています。Postgres がその拡張性と革新性で評価されていることから、中東の代表的なデジタルウォレット「stc pay」は、フィンテックの中心アプリを Postgres に移行することを決断しました。

## オープンソースを導入した地域初の企業

2018年に設立され、サウジアラビアのリヤドを拠点とする stc pay は、全ての顧客の資産を安全に管理し、利便性の高いデジタル経済の実現を目指しています。創業以来、stc pay は革新への情熱と直感的で柔軟なソリューションによって成長を遂げています。

市場での存在感拡大を目指し、stc pay の経営陣は 2022 年 2 月に Microsoft SQL Server から Postgres への移行を決断しました。これにより、stc pay は地域で初めて基幹アプリケーションをオープンソースデータベースで運用する企業となり、画期的な一歩を踏み出しました。

Postgres の導入は、市場での成果だけでなく、企業やアプリケーションに応じて成長できるデータベースの構築、高い可用性とセキュリティの確保が最も重要な課題でした。stc pay は、先進的なフィンテックおよび決済アプリのプロバイダーとして、毎日膨大なデータと取引を処理しています。お客様がアプリを安定的に利用でき、決済情報の安全性を確保することは、企業への信頼に直結しています。

独自仕様のデータベースにかかる費用は、オープンソースへの移行を決定する際の重要な要因でした。「Microsoft や Oracle のデータベースを検討しましたが、コスト的に現実的ではありませんでした」と、stc pay のデータベースチームリーダー、Ibrahim Kawash氏は語ります。Postgres を選ぶことで、企業の要求や目的に合った、コスト面でも負担が軽い理想的な解決策を見出すことができました。

“データベースの視点から、素晴らしいパフォーマンスと安定性を実感しています。これが、私たちが新しいフィンテックアプリの基盤として Postgres を選んだ理由です。”

**Ibrahim Kawash**  
Database Team Lead



## EDB を使って Postgres への移行を行う

Postgres の stc pay 導入は段階的に進められました。SQL Server をただちに手放さず、EnterpriseDB (EDB) とタグを組み、特定アプリケーションから徐々に Postgres へ移行しました。

stc pay が主要なフィンテックアプリを Postgres に移行する際、EDB の専門的な支援が非常に役立ちました。この複雑なプロセスは、stc pay とその顧客にとって重要なアプリケーションであるため、細心の注意が必要でした。

移行中に予期しないトラブルが起こった際も、EDB サポートは常に力強い支援を提供してくれました。Kawash氏は「EDB には何度も助けられました」と述べ、「サポートチームは問題の根本原因を特定する上で非常に重要な役割を果たしました」と語っています。

## 「バックアップとリカバリーで顧客の信頼を築く」

移行が順調に終わった後、同社はアプリケーションの安定運用のため、EDB のプレミアムサポートに切り替えました。加えて、EDB の Failover Manager (EFM) や Backup & Recovery Manager (Barman) を利用し、顧客のデータや資産の安全性と整合性を常に確保しています。

EDB の Postgres Enterprise Manager (PEM) と連携することで、これらのソリューションは stc pay の基幹アプリケーションをファイブナイン (99.999%) の高可用性で安定稼働させ、インフラの停止や障害を心配せずにデータの拡張を実現しています。

私たちはこの地域で最初に Postgres プラットフォームを導入しました。他社と話す際には、パフォーマンスが向上したことや、自信を持って Postgres を推奨していることを伝えています。



## 結果がすべてを物語る

Kawash氏は、stc pay のアプリを Postgres で運用することで得られた利点がすぐに明らかになったと述べています。「とにかく速かった」と語り、組織全体でのスピードとパフォーマンスが向上し、全チームが目標達成に向けて促進され、顧客は stc pay の革新的なアプリを実際に体験することができるようになりました。

組織が求めている信頼性が高く、迅速で常に利用可能な顧客体験の実現により、新しいデータベースへの期待が社内で高まっています。「当社はこの地域で初めて Postgres プラットフォームを導入し、皆様に誇りを持ってお知らせいたします」と Kawash氏は語っています。「他社との密接な関係の中で、パフォーマンス向上について語り、Postgres を推奨しています」とも述べています。

## キャッシュレス社会の実現を支える

Postgres への移行以降、stc pay のアクティブユーザー数は 2022 年末の 70 万人から 2024 年には約 1,200 万人へと急激に増加しました。社内外の利用者が大幅に増える中でも、Postgres はその成長をしっかりと支援しています。

Postgres と stc pay の革新は、オープンソースに興味を持つ新しい人材の採用を促進し、Postgres の使いやすさが社員教育の迅速化にも寄与しています。Kawash氏は「多くの新入社員は Oracle の経験者ですが、Postgres の導入は非常にスムーズで簡単です」と述べています。

stc pay は、サウジ・ビジョン 2030 が目指すキャッシュレス社会の実現に寄与しており、Postgres はその最適なパートナーとして高い安定性と柔軟性を示しています。革新的なモバイルファーストの戦略と決済サービスの基盤を駆使し、stc pay はデジタル変革と金融の自立を支援し、未来をさらに明るく拓いていきます。



### EDB Postgres AI について

EDB Postgres AIは、企業レベルで初めて登場したオープンかつ主権を持つデータ&AIプラットフォームです。セキュリティ、コンプライアンス、そしてオンプレミスからクラウドまで完全なクラウドネイティブ性を備えています。グローバルパートナーネットワークの支援のもと、EDB Postgres AIはトランザクション、分析、AIの各ワークロードを統合し、組織がデータやLLMを必要な場所・タイミング・方法で活用できるようにします。詳細は[www.enterprisedb.com](http://www.enterprisedb.com)をご覧ください。